



学校だより

学校の教育目標

- ・思いやりがあり、心の豊かな人になろう
- ・自ら学び、考え、表現できる人になろう
- ・心身ともに進んで鍛え、健康な人になろう

第9号

令和4年 1月27日
杉並区立阿佐ヶ谷中学校
校長 工藤 康男

「意識は行動をつくり、行動は習慣をつくり、
習慣は人格をつくり、人格は運命をつくる。」

校長 工藤 康男

暦の上で寒さが最も厳しいとされる寒中の時期ですが、暦通りの寒さが続いています。まん延防止等重点措置が発令され、感染症対策も含め、体調管理には十分、ご留意いただければと存じます。特に3年生は、入試等を控え、不安な気持ちもあると思いますが、睡眠時間をきちんと取り、今まで学習してきたことを発揮すれば、大丈夫です。自信をもって、受験に向かって欲しいと思います。

さて、1月19日(水)～21日(金)まで、2学年菅平移動教室を実施しました。2学年は、新型コロナウイルスの影響で、1学年で予定していた宿泊行事のフレンドシップスクールができず、今回の菅平移動教室が中学校生活で初めての宿泊行事でした。菅平高原は、とても寒さの厳しいところですが、1日目の朝の時間は、放射冷却もあり、氷点下の20℃近くまで下がりましたが、昼間は晴天に恵まれパウダースノーの雪質を楽しむことができました。スキーを初めて滑る生徒も多かったため、良い自然環境の中でスキー実習を行うことができました。2日目と3日目は、雪が降り積もる中での実習となり、新雪でスキーの板が外れ、板を装着することもできず、悪戦苦闘する生徒が続出しました。スキーの技術を習得するには、転ぶことも大切です。自分の力で立ち上がることができるようになれば、ほとんどのゲレンデは滑れ

ようになります。インストラクターの方々のお陰で、最終日には、生徒たちが笑顔でゲレンデを滑る様子を見ることができ、子供たちの順応性の高さを感じることができました。

お世話になった宿舎「山光館」の方々には、おやつの用意、雪かき、食事、入浴等で山光館の方々には、とても良くしていただきました。食堂の前には、この言葉が掲げられています。「意識は行動をつくり、行動は習慣をつくり、習慣は人格をつくり、人格は運命をつくる。」

宿の方にお聞きしたところ、「この言葉は山光館で最も大切にしている考え方で、宿泊する皆さんにも当てはまるのではないのでしょうか」と言われました。初めての宿泊行事で1日目は落ち着かない行動も多少見られました。しかし、実行委員や係の生徒からの指示で、意識が変わり、感染症対策に応じた行動もしっかりできるようになりました。行動の変化は、2日目以降も継続することができ、充実した菅平移動教室になりました。

学校生活でも同様のことがいえます。意識をすることで行動が変わり、行動が定着することで習慣化し、習慣化することで人格や運命まで変わることがあります。これからも様々なことに意識がもてるよう、教育活動を推進します。より一層のご理解とご協力をお願いいたします。